

# 令和6年度 指定管理者 評価報告書

No.	08	評価区分	I 文化交流施設、スポーツ施設、環境衛生施設、福祉施設
施設名	飛騨市障がい者グループホーム	所管課	総合福祉課
指定管理者	社会福祉法人 吉城福祉会	地域名	古川町

## 1 施設の概要

施設所在地	飛騨市古川町下気多990番地
設置目的	地域住民との交流が確保される環境の中で、障がい者に対し、家庭的な雰囲気の下、共同生活を営むことができるような住まいの場として提供し、総合支援法に基づく障がい福祉サービスの提供及び障がい者支援に必要な事業を実施する。
施設の概要	障がい者グループホーム

## 2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	令和5年7月	募集の方法	非公募
評価年度の属する指定期間	令和5年7月 ～ 令和7年度 （ 2年間9か月 ）		
利用料金制	有り		

## 3 職員の配置

配置人員	常勤	4
	非常勤	7

## 4 施設利用者の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数 (人)			7	9
前年度増減比 (%)				28.6%

## 5 業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
入居者9名確保	9名確保された。そのほか体験入所者3名利用中。

## 6 モニタリングによる意見及び苦情等の把握と対応状況

アンケート方式	手段	アンケート方式	件数	6 件
その他の方式	手段		件数	件
利用者等からの意見と対応		要望・意見・苦情	対応	
指定管理者に対する意見	①	利用者間でのトラブル	個別面談を行い対応	
	②			
	③			
市に対する意見	①			
	②			
	③			

## 7 地域との交流・連携の取り組み

取り組み	実績及び評価
施設の空きスペースを活用した卓球スペースの開放や地域の避難所としての利用	施設の空きスペースの活用は良いが、卓球だけでは利用者が限られてくるので他の活用方法も考えてほしい。

## 8 指定管理者からの提案方策の実施状況

取り組み	実績及び評価
年度初めの定員は7名としていたが、入居ニーズに合わせて定員調整を行った。	入居ニーズに柔軟に対応している。これにより予定どおりR7年度には12名の定員満床となる見込み。

## 9 自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
なし	

## 10 人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
情報交換を含めて毎週情報共有会議を行っている。	情報共有会議に出席できない職員においては、口頭と文書で共有を行っている。

## 11 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	主な内容
収入	0	0	12,028	22,540	
指定管理料			0		
利用料金			2,490	4,972	
純売上高			0	0	
その他			9,538	17,568	
支出	0	0	8,574	19,329	
売上原価			0	0	
人件費			4,672	9,461	
光熱水道費			1,569	3,731	
設備保全費			297	396	
修繕費			9	11	
備品消耗品			728	671	
清掃費				85	
その他管理費			50	43	
運営費事務費			1,207	4,931	
その他			42		
指定管理業務収支	0	0	3,454	3,211	
自主事業収支					
全体収支	0	0	3,454	3,211	
備考			R5.7月～		

※指定管理料が0円の施設の自主事業収支は、指定管理業務収支に含まれるものとする。

## 12 収入確保に対する取組

取り組み	実績及び評価
計画に基づいた入居者9名の確保	希望者に対して体験利用を実施するなど、入居希望者に対し積極的に対応している。

## 13 経費削減に対する取組

実施内容	実績及び評価
消耗品については毎月在庫確認したうえで物品を配備できるよう購入する体制をとっている。	事務局に許可を取るなど法人全体で経費削減を意識している。

#### 14 指定管理者の評価

指定管理者制度運営委員会での審査を経て決定された最終評価

大項目	評価		前年	評価に対する内容
平等利用の確保(20)	b	(15)	b	入居希望者の障がい状況、家族関係、特性等を把握し、優先度の高い方から入所している。残り枠が3名となったことから今後は市と相談しながら優先度を見極めて対応してほしい。
施設の効用の発揮(20)	b	(15)	b	当初の予定通り9名の入居者となった。軽度～中度の障がい者を対応し、入居者の将来を見据えた対応を行っている。
安定した管理能力(20)	b	(15)	c	人材不足のなか、法人全体で連携を図りながら安定した運営を行っている。入居者から特に苦情もない。
経費の縮減(20)	b	(15)	c	消耗品の購入など必要以上に購入せず節約している。人件費については兼務で抑えているが、職員に過度な負担にならないよう配慮してほしい。
自主事業等及び各課で定める項目等(20)	b	(15)	b	本人の実家への帰省等について、家族と調整を行うなど丁寧な対応をしている。また送迎については、憩いの家や他の事業所と連携を行い効果的に行っている。
総合評価	B	(75)	C+	当初の計画どおり開所2年目で9名の入所者を確保できたことのほか、利用者同士のトラブルへの対処等、利用者の特性に合わせてうまく対応しており、評価できる。